



HP Operations Smart Plug-in for Systems Infrastructure

ソフトウェア バージョン: 12.00

HP Operations Manager for Windows®、HP-UX、Linux、Solaris オペレーティングシステム

リリース ノート

ドキュメント リリース日: 2015 年 8 月
ソフトウェア リリース日: 2015 年 8 月

ご注意

保証

HP 製品、またはサービスの保証は、当該製品、およびサービスに付随する明示的な保証文によってのみ規定されるものとします。ここでの記載で追加保証を意図するものは一切ありません。ここに含まれる技術的、編集上の誤り、または欠如について、HP はいかなる責任も負いません。

ここに記載する情報は、予告なしに変更されることがあります。

権利の制限

機密性のあるコンピュータ ソフトウェアです。これらを所有、使用、または複製するには、HP からの有効な使用許諾が必要です。商用コンピュータ ソフトウェア、コンピュータ ソフトウェアに関する文書類、および商用アイテムの技術データは、FAR 12.211 および 12.212 の規定に従い、ベンダーの標準商用ライセンスに基づいて米国政府に使用許諾が付与されます。

著作権について

© Copyright 2010 - 2015 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

商標について

Adobe® は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の商標です。

Microsoft® および Windows® は、米国における Microsoft Corporation の登録商標です。

Oracle は、Oracle またはその関連会社の登録商標です。

UNIX® は、The Open Group の登録商標です。

ドキュメントの更新情報

このガイドの表紙には、以下の識別情報が記載されています。

- ソフトウェアのバージョン番号は、ソフトウェアのバージョンを示します。
- ドキュメント リリース日は、ドキュメントが更新されるたびに更新されます。
- ソフトウェア リリース日は、このバージョンのソフトウェアのリリース期日を表します。

最新の更新のチェック、またはご使用のドキュメントが最新版かどうかの確認には、次のサイトをご利用ください。 <https://softwaresupport.hp.com>

このサイトを利用するには、HP Passport への登録とサインインが必要です。HP Passport ID の取得登録は、次の Web サイトから行なうことができます。 <https://hpp12.passport.hp.com/hppcf/createuser.do>

または、HP ソフトウェア サポート ページ 上部の登録リンクをクリックしてください。

適切な製品 サポート サービスをお申し込みいただいたお客様は、最新版をご入手いただけます。詳細は、HP の営業担当にお問い合わせください。

サポート

HP ソフトウェア サポート オンライン Web サイトを参照してください。 <https://softwaresupport.hp.com>

HP ソフトウェアが提供する製品、サービス、サポートに関する詳細情報をご覧ください。

HP ソフトウェア サポート オンラインでは、セルフソルブ機能を提供しています。お客様の業務の管理に必要な対話型の技術支援ツールに素早く効率的にアクセスいただけます。HP ソフトウェア サポート Web サイトのサポート範囲は、次のとおりです。

- 関心のある技術情報の検索
- サポート ケースとエンハンスメント要求の登録とトラッキング
- ソフトウェア パッチのダウンロード
- サポート契約の管理
- HP サポート窓口の検索
- 利用可能なサービスに関する情報の閲覧
- 他のソフトウェア カスタマとの意見交換
- ソフトウェア トレーニングの検索と登録

一部を除き、サポートのご利用には、HP Passport ユーザーとしてご登録の上、ログインしていただく必要があります。また、多くのサポートのご利用には、サポート契約が必要です。HP Passport ID を登録するには、以下の Web サイトにアクセスしてください。

<https://hpp12.passport.hp.com/hppcf/createuser.do>

アクセス レベルに関する詳細は、以下の Web サイトを参照してください。

<https://softwaresupport.hp.com/web/softwaresupport/access-levels>

HP Software Solutions Now は、HPSWのソリューションと統合に関するポータル Web サイトです。このサイトでは、お客様のビジネスニーズを満たすHP製品ソリューションを検索したり、HP 製品間の統合に関する詳細なリストやITILプロセスのリストを閲覧することができます。このサイトの URL は

<http://h20230.www2.hp.com/sc/solutions/index.jsp> です。

目次

HP Operations Smart Plug-in for Systems Infrastructure リリースノート	5
このリリースの新機能	5
サポートされている環境	8
ソフトウェアのライセンス	9
サポートマトリックス	9
インストールについて	9
既知の問題と回避方法	10
制限事項	12
ドキュメントの更新情報	12
各国語版のサポート	13
ドキュメントのフィードバックを送信	14

HP Operations Smart Plug-in for Systems Infrastructure リリースノート

HP Operations Manager for Windows[®]、HP-UX、Linux、Solaris オペレーティングシステム用

ソフトウェアバージョン: 12.00

発行日: 2015 年 8 月

このドキュメントでは、HP Operations Smart Plug-in for Systems Infrastructure (SI SPI) の変更の概要を説明します。このドキュメントでは、マニュアルやオンラインヘルプに記載されていない重要事項について説明します。このドキュメントの構成は次のとおりです。

- [このリリースの新機能](#)
- [サポートされている環境](#)
- [ソフトウェアのライセンス](#)
- [サポートマトリックス](#)
- [インストールについて](#)
- [既知の問題と回避方法](#)
- [制限事項](#)
- [ドキュメントの更新情報](#)
- [各国語版のサポート](#)

このリリースの新機能

SI SPI のこのリリースには、次の機能が含まれています。

SI-ProcessMonitor

SI-ProcessMonitor ポリシーは、プロセスグループ内の一連のプロセスを監視します。SI-SPI を使用して監視する必要があるすべてのプロセスおよびプロセスグループを設定ファイル `procmon.cfg` または SI-ProcessMonitorConfig ファイル ポリシーで定義する必要があります。

詳細については、『HP Operations Smart Plug-in for Systems Infrastructure ユーザーガイド』を参照してください。

SI-ZombieProcessCountMonitor

SI-ZombieProcessCountMonitor ポリシー (測定しきい値) は、ノード上で実行されるゾンビプロセスの数を監視します。ゾンビプロセスの数が設定されたしきい値を超えている場合、HPOM コンソールにアラートを送信します。

詳細については、『HP Operations Smart Plug-in for Systems Infrastructure ユーザーガイド』を参照してください。

構成変更監視 (CI 変更監視または CCIMon) ポリシー

CCI 監視ポリシーは、ファイル、Windows レジストリ設定、および変更のコマンドの結果を監視します。監視するすべての構成の変更を構成ファイル ポリシーまたは次の場所にある構成ファイル `ccilist.cfg` に追加できます。

Windows の場合

```
%OvDataDir%\conf\ccimon\configuration
```

UNIX の場合

```
var/opt/OV/conf/ccimon/configuration
```

CCI 監視ポリシーは、実行されるたびに `ccilist.cfg` ファイルを読み取り、ファイル、Windows レジストリ設定、コマンドの結果に変更があるとアラートを送信します。

必要な状態の監視機能

必要な状態の監視機能は、ファイル、Windows レジストリ設定、および設定ファイル `ccilist.cfg` のコマンドの結果を監視します。

必要な状態の監視機能は、設定変更監視ポリシーの機能と同じです。配布の後で、必要な状態の監視ポリシーが、構成ファイル `ccilist.cfg` 内の `==` を確認し、構成ファイルに加えられたファイル、Windows レジストリ設定、およびコマンドの結果と対応する参照ファイルまたは古いファイルを比較します。監視対象のファイル、Windows レジストリ設定、およびコマンドの結果が変更されるたびにアラートが生成されます。

詳細については、『HP Operations Smart Plug-in for Systems Infrastructure ユーザーガイド』を参照してください。

RealTimeAlerts ポリシー

RealtimeAlerts ポリシーは、CPU、ディスク メモリ、およびネットワークのボトルネックを監視します。Realtime Configuration ポリシーは、これらのパラメータのしきい値を定義します。しきい値に違反しているときには、アラートメッセージがシステム管理者に遅延なく通知され、実稼働環境のダウンタイムを減らします。

注記: RealTimeAlerts ポリシーでリアルタイムデータを取得するには、HP Operations Agent ノードで RTMA ライセンスを有効にする必要があります。

詳細については、『HP Operations Smart Plug-in for Systems Infrastructure ユーザーガイド』を参照してください。

ログ ファイルを監視するためのセキュリティ ポリシー

- **Linux のログイン失敗ポリシー:** このポリシーは、`/var/tmp/badlogs.log` ファイルでログイン失敗を監視し、不正なログインが発生したときにユーザーに警告します。
- **AIX のログイン失敗ポリシー:** このポリシーは、`/etc/security/flogin` ファイルでログイン失敗を監視し、不正なログインが発生したときにユーザーに警告します。

- **AIX のログイン ポリシー:** このポリシーは、`/var/adm/wtmp` ファイルでログインの履歴を監視し、正常なりモートログイン、正常なローカルログイン、システム起動、システムシャットダウンユーザー、システムシャットダウンが発生したときにユーザーに警告します。
- **AIX の SU ポリシー:** このポリシーは、`/var/adm/su` ファイル内のユーザー切り替えの履歴を監視します。SU コマンドが実行されるとアラートがユーザーに送信されます。
- **AIX のシステム ログ ポリシー:** このポリシーは、`/tmp/syslog` ファイルに送信されたメッセージを監視します。
- **HP-UX のログイン失敗ポリシー:** このポリシーは、`/var/adm/loginlog` ファイルでログイン失敗を監視し、不正なログインが発生したときにユーザーに警告します。
- **HP-UX のログイン ポリシー:** このポリシーは、`/var/adm/wtmp` ファイルでログインを監視し、不正なログインが発生したときにユーザーに警告します。
- **HP-UX のユーザー切り替えポリシー:** このポリシーは、`/var/adm/su` ファイルでユーザー切り替えイベントを監視し、ユーザー切り替えイベントが発生するとユーザーに警告します。
- **HP-UX の Syslog ポリシー:** このポリシーは、`/var/adm/syslog/syslog.log` ファイルに送信されたメッセージを監視します。
- **Sun Solaris ログイン失敗:** このポリシーは、`/var/adm/loginlog` ファイルでログイン失敗を監視し、不正なログインが発生したときにユーザーに警告します。
- **Sun Solaris ログイン:** このポリシーは、`/var/adm/wtmp` ファイルでログインの詳細を監視し、正常なりモートログイン、正常なローカルログイン、システムログイン、システムシャットダウン、`system shutdown/1` が発生したときにユーザーに警告します。
- **Sun Solaris snmp ログ ポリシー:** このポリシーは、`/var/adm/messages` ファイルで SNMP ログファイルエントリを監視します。
- **Sun Solaris Syslog ポリシー:** このポリシーは、システムログファイル `var/adm/messages` 内でシステムメッセージを監視し、必要な条件が正常に一致したときに警告します。

詳細については、『HP Operations Smart Plug-in for Systems Infrastructure ユーザーガイド』を参照してください。

FSMON 機能

FSMON 機能は、ディスク容量監視ポリシーで `fsmon` フラグが **True** に設定されている場合に、ファイルシステムを監視します。設定ファイルで定義されたしきい値を基にしてユーザーにアラートメッセージが送信されます。

- `ossapi_fsmon.cfg`
- `ossapi_global_fsmon.cfg`
- `ossapi_local_fsmon.cfg`

詳細については、『HP Operations Smart Plug-in for Systems Infrastructure ユーザーガイド』を参照してください。

Energy SPI の収集

Energy SPI Collector は、HP Operations Agent バージョン 12.00 が実行されているシステムからメトリクスを収集するために使用するツールです。このツールは、複数の仮想マシンがインストールされている物理マシンの電力使用量を測定します。Energy SPI Collector ツールは、Windows および Linux プ

ラットフォームでのみサポートされ、HP Integrated Lights-Out (iLO) が物理サーバーにインストールされている場合のみ機能します。

詳細については、『HP Operations Smart Plug-in for System Infrastructure ユーザー ガイド』を参照してください。

サポートされている環境

SI SPI をインストールする前に、お使いのシステムが HP Operations Manager (HPOM) 管理サーバーおよび管理ノードの最小要件を満たしていることを確認してください。

サポートされているオペレーティングシステム アーキテクチャ、リリースバージョン、最近の更新については、次のサポートマトリックスの URL を参照してください。[HP ソフトウェア サポート マトリックス](#)

管理サーバーの要件

Infrastructure SPI は、HPOM for Windows、HP-UX、Linux、Solaris オペレーティングシステムでサポートされます。次の表は、HPOM の要件と、管理サーバーにインストールする必要がある HP ソフトウェア製品を示しています。この表に記載されているパッチは、適用できる最小レベルのパッチです。必ず最新のパッチを適用してください。

製品名	オペレーティングシステム	サポートされているバージョン	パッチ/ホットフィックス
HP Operations Manager	Windows	9.00	OMW_00185
		8.16	OMW_00186
	HP-UX	9.21.100	OMUADMINUI_00012.zip、 OMHPUX_00013.depot
	Linux	9.21.100	OMUADMINUI_00012.zip、 OML_00089.rpm
	Solaris	9.21.100	OMUADMINUI_00012.zip、 ITOSOL_00811.shar
HP Performance Manager (グラフを表示する場合)	Windows	9.20	-
	HP-UX	9.20	-
	Solaris	9.20	-
	Linux	9.20	-

製品名	オペレーティングシステム	サポートされているバージョン	パッチ/ホットフィックス
HP Reporter (レポートを表示する場合)	Windows - 64ビット	4.00	-
	Windows - 32ビット	3.90	-
		3.80	-

* ホットフィックスの入手については、HP サポートまでお問い合わせください。

管理ノードでサポートされているエージェントのバージョン

Infrastructure SPI は、Windows、AIX、Linux、HP-UX、または Solaris オペレーティングシステムが稼働するノードをサポートしています。次の表は、管理ノードに配布する必要のあるエージェントのバージョンを示しています。

製品名	サポートされているバージョン
HP Operations Agent	12.00

ソフトウェアのライセンス

SI SPI用の個別のライセンスは必要ありません。ライセンスは、HP Operations Agent Software LTU (使用権) を購入すると付属しています。1 つの HP Software Operations Agent LTU に、SI SPI、CI SPI、および VI SPI の LTU が付属します。

サポートマトリックス

この製品のすべてのソフトウェアおよびハードウェアの要件が表示されたサポートマトリックスについては次の場所を参照してください。[HP サポートマトリックス](#)

注記: 一部を除き、サポートのご利用には、HP Passport ユーザーとしてご登録の上、ログインしていただく必要があります。また、多くのサポートのご利用には、サポート契約が必要です。サポートアクセスレベルの詳細については、「[アクセスレベル](#)」を参照してください。

HP Passport ID を登録するには、「[HP Passport の登録](#)」にアクセスしてください。

インストールについて

SI SPI のインストール要件およびインストール手順については、インストールガイド (HP Operations Agent および Smart Plug-ins for Infrastructure インストールガイド) を参照してください。

既知の問題と回避方法

各問題の参照番号は、Quality Center Change Request (QCCR) 番号です。未解決の問題の詳細については、[HP ソフトウェア サポートオンライン](#)を参照するか、HP サポート担当者に直接お問い合わせください。

SI SPI:

問題: Debian および Ubuntu のサービス監視ポリシーで、Linux の Availability ポリシー グループにブレースホルダーを追加する必要がある。詳細については、[QCCR1A153787](#) を参照してください。

QCCR1A134939: SI-Discovery で多数のファイルシステムに対するタイムアウトが通知される

回避方法: 次のコマンドを使用して、ノード上の agtrep タイムアウトを大きくすることができます。

```
ovconfchg -ns agtrep -set ACTION_TIMEOUT 30
```

問題: 一部のログ監視ポリシーは、非 root ユーザーとしてエージェントを実行している RHEL および SLES システムでは機能しない。

回避方法: SI SPI では代替手段として、HTTPS エージェントの非 root ユーザーに対応したポリシーとツールをサポートしています。次のポリシーは、RHEL および SLES システムでは機能しません。

- SI-LinuxBootLog
- SI-LinuxSecureLog
- SI-LinuxKernelLog 2

非 root エージェントで Infrastructure SPI のログ監視に対するアラートを有効にするには、次の手順を実行します。

1. 次のコマンドを使用して、必要なログ ファイルの権限を更新します。

RHEL:

```
chmod 444 /var/log/messages
```

```
chmod 444 /var/log/boot.log
```

```
chmod 444 /var/log/secure
```

SLES:

```
chmod 444 /var/log/messages
```

```
chmod 444 /var/log/boot.log
```

2. 次のコマンドを使用して、RHEL および SLES の OVBCCB および OPCLE プロセスの権限を更新します。

```
chmod 4555 /opt/OV/bin/ovbbccb
```

```
chmod 4555 /opt/OV/lbin/eaagt/opcle
```

3. 次のコマンドを実行して、RHEL および SLES の非 root ユーザーに切り替えます。

```
su - <non-root user name>
```

4. 次のコマンドを実行して、RHEL および SLES の ovc を再起動します。

```
ovc -stop
```

```
ovc -start
```

5. すべてのプロセスのステータスを確認するため、コマンド `ovc` を実行します。実行されているすべてのプロセスが表示されます。

問題: HPOM 上で Infrastructure SPI によって追加された SNMP ノードで、重要なノードがダウンしている可能性を示すアラートメッセージが表示される。

回避方法: SNMP ノードに対するハートビートポーリングプロトコルを ICMP に手動で更新するため、以下の手順を実行します。

Windows の場合:

1. HPOM for Windows 管理サーバー コンソールで、SNMP ノードを右クリックします。
2. ポップアップメニューから **プロパティ** を選択します。
3. **ネットワーク** タブをクリックします。
4. [ハートビートポーリング] で、**ポーリング** の値を「カスタム」に変更し、**[Ping プロトコル]** の値を「**ICMP のみ**」に変更します。
5. **[適用]** をクリックし、**[OK]** をクリックします。

HP-UX、Linux または Solaris の場合:

次のコマンドを実行します。

```
opchbp -stop -nodegrp "VI-VMware Guests"
```

HP Operations Agent:

- **問題:** Infrastructure SPI ポリシーがノードに配布されるときに Opicle が中止される。詳細については、[QCCR1A153786](#) を参照してください。

QCCR1A155301: プロセスの CPU 使用率/メモリ使用率が条件に違反しているときでも、すべてのプロセス監視ポリシーで「XXX プロセスが実行されていない」ことを示すデフォルトのメッセージが表示される。

回避方法: サポートにお問い合わせください。

QCCR1A174604: SI-NetworkUsageAndPerformance 監視ポリシーの警戒域アラートメッセージで蝶型の記号 (><) が表示される。

回避方法:

SI-NetworkUsageAndPerformance 監視ポリシーの警戒域アラートメッセージから蝶型記号 (><) を消すには、次のステップに従います。

1. HPOM コンソールで、**[ポリシー管理] > [ポリシー グループ] > [インフラストラクチャ管理] > [<言語>] > [システム インフラストラクチャ] > [パフォーマンス]** を選択します。
2. **SI-NetworkUsageAndPerformance** 監視ポリシーを開きます。
3. **[しきい値レベル]** タブで、**[ネットワーク インターフェイス警戒域アラート]** をクリックします。
4. **[Perl スクリプト]** を選択します。
5. 警戒域アラートのアラート文字列から蝶型記号 >< を削除します。
6. ポリシーを保存します。
7. ポリシーを必要なノードに配布します。

制限事項

- ノードに自動配布されるポリシーの言語は、HPOM for Windows 管理サーバーのロケールに依存します。ノードのロケールには依存しません。
- SI SPI ツールはローカライズされません。
- Debian および Ubuntu のプロセス モニタはローカライズされません。

ドキュメントの更新情報

SI SPI には、以下のドキュメントが用意されています。

- HP Operations Agent および Smart Plug-in for Infrastructure インストール ガイド
- コンセプト ガイド
- ユーザー ガイド

このドキュメントの最初のページには次の情報が記載されています。

- ソフトウェアのバージョン番号
- ソフトウェア リリース日

更新状況の確認や、ご使用のドキュメントが最新版かどうかは、[HP ソフトウェア製品マニュアル Web サイト](#)をご利用ください。

ドキュメントを入手するには、以下を選択します。

1. **製品名**
2. **バージョン リスト**
3. **オペレーティング システム**
4. **優先言語**
5. **表題**
6. **[開く]** または **[ダウンロード]** をクリックします。

PDF形式のファイル(*.pdf)を表示するには、Adobe® Readerをインストールしておく必要があります。Adobe Readerをダウンロードするには、[Adobe Web](#)サイトにアクセスしてください。

各国語版のサポート

HPは、ローカライズされたソフトウェアと英語のドキュメントを提供します。

ドキュメントのフィードバックを送信

本ドキュメントについてのご意見、ご感想については、電子メールで[ドキュメント制作チームまでご連絡](#)ください。このシステムで電子メールクライアントが設定されていれば、このリンクをクリックすることで、以下の情報が件名に記入された電子メールウィンドウが開きます。

Feedback on リリースノート (Operations Smart Plug-in for Systems Infrastructure 12.00)

本文にご意見、ご感想を記入の上、[送信]をクリックしてください。

電子メールクライアントが利用できない場合は、上記の情報をコピーしてWebメールクライアントの新規メッセージに貼り付け、docfeedback@hp.com 宛にお送りください。

お客様からのご意見、ご感想をお待ちしています。